



Library News

渋川女子高校図書委員会
2024年度第11号
3月7日発行

3年生が卒業し、 在校生の3月はまとめ月間です



右のお花の写真は、卒業式で飾ってあったお花を図書館でいただいたものです。それにしても感動的な卒業式でした。いよいよ3年生は渋女を巣立ち、次は在校生のみなさんがこの学校を動かしていく学年になります。・・・なーんて、プレッシャーになるような言葉を並べてみましたが、気負うことはありません。この1年間の様々な思いを全部ひっくり返して自分の成長の糧にできるようにちょっと丁寧に振り返り、課題を見つけ、それに対して手掛かりになるような本を図書館で探してみるといいかもしれません。

掲示板とソファを新調！ 図書館がより明るくなった！

天井付近の掲示板を新しくしました！これは美術部さんの協力により叶えられ、図書館がより明るくなりました。美術部さんの配慮によりすっきりと描かれた掲示板になり、公仕さんたちが取り付けてくれて完成です。美術部さん、下田先生、公仕さん方、本当にありがとうございました！



もう一つ、みなさんがよく使っていたソファを新しくしました。ここでくつろぎながら本を読んだりお友達と静かにおしゃべりしてみてください。

そして、今までゆったりとした時間を提供してくれていた白いソファたち、長い間どうもありがとうございました。

＼渋女図書館大賞まもなく発表！

図書委員さんのアイデアで、今年は渋女図書館大賞のポスターを作成します！渋女図書館で今年どのような本が人気があったのか、さくっとわかる内容になるよう有志の2名が作成中です。きっとかわいく面白い内容に仕上がると思いますので、乞うご期待！出来上がったなら玄関に掲示しますので、お楽しみに！！



司書さんの トホホな エピソード

2月中、渋女では1年のまとめとしてあらゆる文集が発行されました。文集と言えば、忘れられない私の昔々の思い出があります。それは、私の幼稚園卒園時の、保護者が原稿を寄せる文集です。自分が大人になって部屋を片付けていた時に偶然見つけ、読み返してみました。私の父が原稿を書いたのですが、内容は、運動会の障害物競走のことでした。出だしは1番でなかったのに、障害物の一つに長いトンネルがあって、そこから私が1番に出てきたから驚き、結局1番でゴールしたことから、これからもその意気込みで頑張ってもらいたい！というように、強い願いを込めて文が締めくくられていました。私は、実はその障害物競走のトンネルのことは子供ながらにずっと心にひっかかっていたことだったと思い出しました。そのトンネルの幅は子供一人がやっと入れるような大きさと、順に入って順に出るしかないようなトンネルだったのです。なのに私は1番で出てきてしまった。なぜか。私ははっきり覚えています、トンネルの中で「どいてくれる？」と前の子に言って自分がその子を押しのけて前に進んでしまったことを。普通こんなことしません。先にトンネルに入っていた子をどかしちゃったことに申し訳なく思っていたのですが、父親は「その心意気でがんばれ！」と、一人で勝手に盛り上がり書いていたのでした。親ってすごい解釈をしちゃうんだな、そしてその親の子の私はもっとおかしい子供だったな、そう思い知らされた卒園の文集でした。